

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

法学・政治学プログラム

（博士課程前期）

法学・政治学プログラムでは、以下の能力を身に付け、所定の単位数を修得し、修士論文及び最終試験又は博士論文研究基礎力審査に合格した学生に、研究テーマ及び専門領域に応じて「修士（法学）、修士（学術）」のいずれかの学位を授与する。

- (1) 現代の国内・国際社会がかかえる事例分析及び社会調査等に関する高度な知見・手法を修得している。
- (2) 具体的な社会問題等の解決に向けた事例・現状分析及び戦略立案の作成に関する高度な知見・手法を修得している。
- (3) 幅広く深い教養と狭い専門領域にとらわれない広い視野を有している。
- (4) 未体験の事態でも対応可能な高度な論理力と複眼的思考力に裏打ちされた課題発見能力を有している。
- (5) 多分野の専門家で構成されるチームの一員として社会における様々な課題解決に取り組む行動力を有している。
- (6) 修士学位取得者としての使命を自覚し、高い倫理観を有している。

（博士課程後期）

法学・政治学プログラムでは、以下の能力を身に付け、所定の単位数を修得し、博士論文の審査及び最終試験に合格した学生に、研究テーマ及び専門領域に応じて「博士（法学）、博士（学術）」のいずれかの学位を授与する。

- (1) 卓越した専門知識や分析手法を修得している。
- (2) 事例や課題等についての新たな発見・解明を促す能力を有している。
- (3) 新たな概念や論理的視点を提供できる能力を有している。
- (4) 高度で先端的、独創的な専門研究能力を有している。
- (5) 幅広く深い教養と狭い専門領域にとらわれない学際的かつ国際的な視野を有している。
- (6) 未体験の事態でも対応可能な高度な論理力と柔軟な複眼的思考力に裏打ちされた卓越した課題発見能力を有している。
- (7) 多分野の専門家で構成されるチームのリーダーとして社会における様々な課題解決に取り組む行動力を有している。
- (8) 博士学位取得者としての使命を自覚し、極めて高い倫理観を有している。